

各工程表の成果目標について

宇宙政策委員会第37回会合（平成27年3月20日）資

は第36回宇宙政策委員会の資料4記載部分

参考資料3

No	工程表名	成果目標(案)	政策体系			各省の関連施策	
			安 保	民 生	基 盤	施策名	省庁
17	新型基幹ロケット【文科省】	【基盤】我が国の自立的な打ち上げ能力の確保及び打ち上げサービスの国際競争力の強化を目指し、「新型基幹ロケット」の機体と種子島宇宙センター等の地上システムを一体とした総合システムとして開発を着実に推進する。			◎	新型基幹ロケット 基幹ロケット相乗り機会拡大対応改修 基幹システムの維持 等 基幹ロケット(H-IIA)高度化(当初&補正)	文部科学省 文部科学省 文部科学省 文部科学省
18	イプシロンロケット【内閣官房、文科省、防衛省等】	【基盤】平成27 年度末をめどに打ち上げ能力の向上及び衛星包絡域の拡大のための高度化を完了し、当該能力を必要とする所要の衛星を打ち上げる。 「新型基幹ロケット」の固体ロケットブースターとのシナジー効果を発揮できるような将来の固体ロケットの形態の在り方について検討を行い、必要な措置を講じる。			◎	基幹システムの維持 等 基幹ロケット(イプシロン)高度化及び相乗り機能付加(補正)	文部科学省 文部科学省
19	射場の在り方に関する検討【内閣官房、内閣府、文科省、防衛省等】	【基盤】諸外国の射場に関する動向も踏まえ、我が国としての射場の在り方に関して論点を整理する。			◎	宇宙利用拡大の調査研究	内閣府
20	即応型の小型衛星等の打上げシステム【内閣官房、内閣府、文科省、防衛省等】	【安保】即応型の小型衛星等に関する調査研究と連携し、安全保障上のニーズに応じた当該衛星等の打ち上げシステム(空中発射を含む)の在り方等に関して整理・明確化を行う。	◎				
21	宇宙状況把握【内閣府、外務省、文科省、防衛省等】	【安保】我が国のSSA体制の確立と能力の向上を図るとともに、米国との連携強化の在り方について協議を進め、宇宙空間の安定的利用の確保及び日米同盟の強化に寄与する。 (基盤)我が国のSSA体制の確立と能力の向上を図るとともに、米国との連携強化の在り方について協議を進め、宇宙空間の安定的利用の確保に寄与する。	◎		○	宇宙利用拡大の調査研究 スペースデブリ対策技術の研究 宇宙状況監視に必要な経費 宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査・研究	内閣府 文部科学省 文部科学省 防衛省
22	海洋状況把握【内閣官房、内閣府、外務省、文科省、国交省、防衛省等】	【安保・民生】関係府省の連携の下、我が国等が保有する各種の人工衛星を試験的に活用する等により、MDAへの宇宙技術の活用について、航空機や船舶、地上インフラ等との組み合わせや米国との連携等を含む総合的な観点から検討を行い、必要な措置を講じる。	◎				
				◎		海洋環境モニタリング多様化推進事業 北西太平洋地域海行動計画推進費	環境省 環境省
23	早期警戒機能等【内閣官房、内閣府、防衛省】	【安保】早期警戒機能等に係る取組の一環として、赤外線センサの宇宙空間での実証研究を通じて技術的な知見を蓄積する。	◎			宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査・研究	防衛省
24	宇宙システム全体の抗たん性強化【内閣官房、内閣府、防衛省等】	【安保】我が国及び同盟国が運用する宇宙システム全体(民生用途を含む)の抗たん性を総合的かつ継続的に保持・強化するための方策に関する検討を進め、必要な措置を講じる。	◎			宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査・研究	防衛省
25	宇宙科学・探査【文科省】	【基盤】学術としての宇宙科学・探査について世界的に優れた成果を創出し人類の知的資産の創出に寄与するとともに、我が国の学術研究と宇宙開発利用を支える人材を育成する。			◎	水星探査計画(BepiColombo) ジオスペース探査衛星(ERG) X線天文衛星(ASTRO-H) 学術研究・実験 等 軌道上衛星の運用(科学衛星) 宇宙科学施設維持 国際宇宙探査関連経費 小惑星探査機「はやぶさ2」の開発	文部科学省 文部科学省 文部科学省 文部科学省 文部科学省 文部科学省 文部科学省
26	国際宇宙ステーション計画を含む有人宇宙活動【文科省】	【基盤】(民生)将来の人類の活動領域の拡大へ寄与すると共に、技術蓄積や民間利用拡大を戦略的に実施し、費用対効果を向上させつつ、引き続き我が国の宇宙分野での国際的な発言力を維持する。 平成33 年以降平成36 年(2021 年以降2024 年)までのISS 延長への参加の是非及びその形態の在り方については、様々な側面から総合的に検討を行い、平成28 年度末までに結論を得る。			○ ◎	宇宙環境利用関連経費 日本実験棟(JEM)運用等 宇宙ステーション補給機「こうとり」(HTV)	文部科学省 文部科学省 文部科学省
27	国際有人宇宙探査【文科省】	【基盤】他国の動向も十分に勘案の上、その方策や参加の在り方について、慎重かつ総合的に検討を行う。			◎	宇宙・航空分野の戦略的研究開発・国際展開の推進等	文部科学省
28	民間事業者の新規参入を後押しする制度的枠組みの整備【内閣府、文科省、経産省等】	【基盤】平成28年の通常国会に提出する予定の宇宙活動法案及びリモートセンシング関連法案等と連携しつつ、新規参入を促進し宇宙利用を拡大するために必要となる制度等を包括的に整備する。			◎	宇宙産業技術情報基盤整備研究開発(SERVISプロジェクト)	経済産業省
29	新事業・新サービスを創出するための民間資金や各種支援策の活用等【内閣官房、内閣府、総務省、文科省、厚労省、農水省、経産省、国交省等】	【民生】G空間情報と連携した宇宙に関連した新事業・新サービスを創出するため、民間資金や各種支援策の活用等に関して検討し、必要な措置を講じる。			◎	宇宙利用拡大の調査研究 高精度測位技術を活用したストレスフリー環境づくりの推進 G空間情報を活用したサービスの運用確立のための実証プロジェクト	内閣府 国土交通省 国土交通省
30	部品に関する技術戦略の策定等【内閣府、文科省、経産省、防衛省等】	【基盤】部品に関する技術戦略の策定及び同戦略に基づく施策を通じ、競争力のあるコンポーネント・部品の開発や我が国の優れた民生部品の活用等を促進し、宇宙機器製造基盤の維持・強化を図る。			◎	宇宙産業技術情報基盤整備研究開発(SERVISプロジェクト)	経済産業省
31	費用低減活動の支援及び軌道上実証機会の提供等【文科省、経産省】	【基盤】民間事業者等の人工衛星等の開発・整備・打ち上げ・運用に係る費用を大幅に引き下げることを目指し、低価格・高性能な宇宙用機器や部品の開発・評価等に取り組む。 また、新規要素技術の実証の機会の継続的提供及び拡大を目指し、H-II A/Bロケットの相乗り、ISSの利用及びイプシロンロケットを用いた軌道上実験を行う。			◎	基幹ロケット相乗り機会拡大対応改修 革新的衛星技術実証プログラム 宇宙産業技術情報基盤整備研究開発(SERVISプロジェクト)	文部科学省 文部科学省 経済産業省
32	東京オリンピック・パラリンピックの機会を活用した先導的社会実証実験【内閣府、経産省等】	【民生】地方公共団体、企業等と連携しつつ、東京オリンピック・パラリンピックにおける先端的な宇宙技術の社会実装を目的としたモデル事業を検討し、当該モデル事業を実施する。		◎			
33	LNG推進系関連技術【文科省】	【基盤】諸外国のロケット技術の動向を踏まえ、研究開発を推進し、技術を蓄積する。			◎	基幹システムの維持 等	文部科学省
34	再使用型宇宙輸送システム【文科省】	【基盤】「新型基幹ロケット」等の次の宇宙輸送技術の確立を目指して研究開発を推進し、技術を蓄積する。			◎	将来研究(先行・萌芽、将来輸送系、共通基盤技術)	文部科学省
35	宇宙の潜在力を活用して地上の生活を豊かにし、活力ある未来の創造につながる取組等【文科省、経産省、環境省、総務省等】	【民生】衛星追跡技術を活用した渡り鳥の飛来経路の解明等を通じて、多様な生態系の保全を図り、地球規模課題の解決に資する。 【基盤】宇宙の潜在力を活用して地上の生活を豊かにし、活力ある未来の創造につながる取組や宇宙環境変動への対応力を高める取組を推進し、技術を蓄積する。			◎	宇宙太陽光発電技術の研究 太陽光発電無線送受電高効率化の研究開発	文部科学省 経済産業省
						アジア地域渡り鳥等国際共同研究推進 渡り鳥の飛来経路の解明事業	環境省 環境省
						発生地周辺への渡り鳥の飛来経路調査 希少野生動物野生順化特別事業	環境省 環境省
36	宇宙基本計画に基づく施策の政府一体となった推進【内閣府】	【基盤】(安保・民生)宇宙基本計画の3つの目標の実現を目指し、宇宙開発戦略本部の下、内閣府を中心に政府が一体となり、同計画に基づく施策を推進する。	○	○	◎		

No	工程表名	成果目標(案)	政策体系			各省の関連施策	
			安 保	民 生	基 盤	施策名	省庁
52	民生分野における宇宙利用の推進に向けたその他の取組【内閣府、警察庁、総務省、文科省、農水省、経産省、国交省等】	【民生】宇宙を活用した地球規模課題の解決と安全・安心で豊かな社会の実現及び関連する新産業の創出に向けて取組を深化させ、適切な取組については、個別の工程表に反映させていく。			◎	中央防災無線網の整備・維持管理等	内閣府
						中央防災無線網等の整備(補正)	内閣府
						宇宙利用拡大の調査研究	内閣府
						高解像度衛星画像解析システムの運用	警察庁
						通信衛星の使用	警察庁
						準天頂衛星時刻管理系設備の運用	総務省
						宇宙通信システム技術に関する研究開発	総務省
						海洋資源調査のための次世代衛星通信技術に関する研究開発	総務省
						次世代衛星移動通信システムの構築に向けたダイナミック制御技術の研究開発	総務省
						全国瞬時警報システム(J-ALERT)の衛星回線利用料	総務省
						地域衛星通信ネットワークの利用	総務省
						軌道上衛星の運用(利用衛星、交付金分)(DRTS、ETS-8,WINDS)	文部科学省
						利用推進関連設備の維持 等	文部科学省
						災害観測・監視システムの整備 等	文部科学省
						宇宙航空科学技術推進委託費 等	文部科学省
						被災地域の農作物等復興状況の把握	農林水産省
						赤潮・貧酸素水塊対策推進事業のうち人工衛星による赤潮・珪藻発生等の漁場環境観測・予測手法	農林水産省
						人工衛星の測量分野への利活用(測位分野)	国土交通省
						人工衛星の測量分野への利活用(リモートセンシング分野)	国土交通省
						3次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発	国土交通省
53	宇宙産業及び科学技術の基盤の維持・強化に向けたその他の取組【文科省、経産省】	【基盤】宇宙産業関連基盤の維持・強化及び価値を実現する科学技術基盤の維持・強化に向けて取組を深化させ、適切な取組については、個別の工程表に反映させていく。			◎	高精度測位技術を活用した公共交通システムの高度化に関する技術開発	国土交通省
						宇宙ステーション補給機(HTV)によるデブリ除去システム技術実証(補正)	文部科学省
						基礎・基盤施設維持運営費	文部科学省
						情報システム関連	文部科学省
						信頼性向上プログラム(当初&補正)	文部科学省
						産業振興基盤の強化	文部科学省
						施設整備費及び設備整備費(当初&補正)	文部科学省
						気候変動適応戦略イニシアチブ	文部科学省

(注1)上記政策体系の分類については、今後、各工程表の成果目標の設定状況等を踏まえて、変更される可能性があることに留意。
(注2)◎は主として該当する政策体系であり、当該政策体系を担当する部会において意見等を取りまとめるもの。○はその他関係する政策体系であり、当該政策体系を担当する部会においては、補足的意見等を取りまとめるもの。